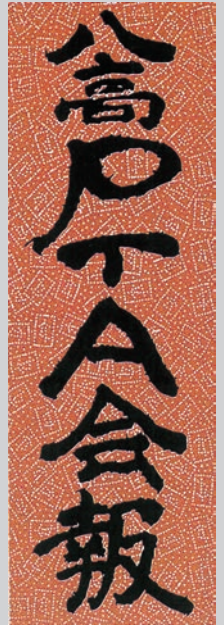


卒業おめでとう!

～先生方からメッセージ～



編集発行
愛媛県立八幡浜高等学校
PTA広報委員会



卒業おめでとうございます

校長 上田 正弘

この学び舎から巣立っていく皆さんに、幕末の志士吉田松陰の言葉を贈ります。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。夢は自分の心を満たし、日々の生活を豊かにしてくれます。自分なりの夢を見つけ、それを糧にこれからの人生を歩んでいってください。皆さんの幸多い人生を祈念しています。」

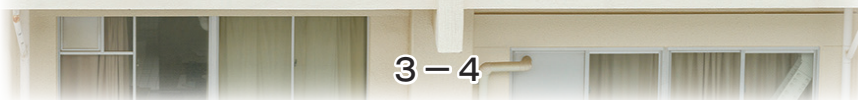


卒業おめでとうございます

教頭 井上 富夫

高校卒業は十二年間のゴールであると同時に、新しい人生のスタートです。未来へ大きく羽ばたこうとしている皆さんに、「目標を持つ」という言葉を贈ります。自分に適した実現可能な目標があったり、生涯の大きな目標であったり人それぞれ目標があると思います。目標がないとやる気や意欲は沸いてこないものです。ぜひ確固たる目標を持ってこれからの人生を切り拓いて下さい。卒業される皆さんの門出を祝福するとともに、健闘を祈ります。





3-5



心豊かな人生を

三学年主任 井上 生

『幸せはいつも自分の心が決める』
これは、詩人相田みつをさんの言葉です。幸せ
だと思うのは自分自身。幸せも不幸も、自分の心
が決めているのです。

辛いこと、苦しいことは、あなたたちを不幸にすることではなく、人と
して成長させる糧になるのです。辛い時こそ、苦しい時こそ、笑顔で過
その壁を乗り越え、幸せに近づいてほしいと願っています。

辛い時、苦しい時こそ、人は磨かれ、心豊かな人生に近づくはず
でも、しんどいときは、立ち止まっていいですよ。そして、この八幡浜

高校で過ごした素敵な三年間を思い出してください。卒業おめでとう。
卒業生の皆さんの前途に幸多かれと祈ります。

文化講演会

愛媛大学防災情報研究センターの山本浩
司先生をお招きし、「大規模自然災害の時
代を生きる」をテーマに講演をしていた
きました。自然災害はいつ起こるか分
りません。山本先生から、今まで日本
で起きた災害の被害状況などを教え
ていただきました。今後、起こると
されている南海トラフ地震に
対して、今、私たちができること
などを真剣に考えることができ、充
実した時間となりました。



汗と涙で販売した焼きそば648食

田中 昭光

娘が入学する前から新型コロナウイルスの感染拡大により、
学校行事も様々な制限がかかり、保護者等として学校行事に
参加することも少なく、何だか寂しい感じもしていましたが、
五月八日に5類に引き下げられ、徐々に学校行事も通常通りと
なり、今回四年ぶりにPTAバザーも開催できるとのこと
で、本役員もやる気に満ち溢れましたが、「ちよつと待て、四年
ぶり何をするんだろういいんだ?」「経験者がいないじゃない
か……」という不安もありました。

しかし、これまでの役員さんが残してくれた八高文化祭の名
物である焼きそばの秘伝のレシピが存在していたのです!この
レシピには焼きそばソースとお好みソースの黄金比から、野菜
のカットの仕方やサイズまでが分かりやすくイラスト付きで記
載されており、これ通りに作れば美味しい焼きそばができるの
です。

事前の買い出しなども女性の役員さんを中心に進めて頂き、
前日の準備も沢山の保護者の方に協力頂きスムーズに作業
ができました。また、キャベツや玉ねぎな
ど保護者でもある本田様からご寄付頂き、
PTAの団結力を感じました。

いざ当日、文化祭行事など見る余裕も無
く、朝一から鉄板の前で焼きそばなし。生
徒に負けない元気で勝負し、汗と涙で
販売した焼きそば六百四十八食。最後はク
タクタでしたが、心地良い達成感を味わえ
ました。まあ、もう二度とこの数の焼きそ
ばを焼くことはないだろう(笑)





文化祭

11月3日(金)





心に響くハーモニ

コーラス部
保護者 阿部 千春

不安を抱えながらも、歌うのが好きな娘はコーラス部に入学しました。いざ入学してみると不安より先輩方や同級生と歌う楽しさの方が勝り、やりがいも感じるようになりました。
濱邊先生のご指導のもと、少人数でありながら人の心に響く歌声を奏でる子どもたちに感動を覚えました。歌声を聞くたびに、こちらまでパワーをもらえました。三年生が引退した後、二年生



が二人になりコーラス部を続けていけるか悩んでいる中、一年生が入部してきてくれました。個性あふれるメンバーとの活動は、先輩方がいた時のコーラス部とは一味違ったハーモニを奏でてくれました。
八高のコーラス部は、コンクールに出場しても大人数で歌っている学校に引けを取らない歌唱力や音量を持っています。その歌声をこれからも、八高中に響かせてほしいです。

将棋に感謝

将棋部
保護者 太田 友香

史上最年少でプロ入りを果たし、その後も数多くの記録を残している、藤井聡太八冠に憧れ、将棋部に入部しました。
未経験ではありませんでしたが、日々の練習対局を通して技術の向上に努め、大会では、持てる力を十分に発揮することができました。
他の部活動に比べると、それぞれの実力を試す大会は少ないですが、その限られた機会を大切に、自分自身と向き合い、一局毎に強くなっていこうと成長を感じました。



あらゆる方々に支えられ、部長としての責任を果たすことができたのではないのでしょうか。この貴重な経験を今後の人生に生かしてほしいと願っています。
ご指導していただいた先生方、部員の皆さん、本当にありがとうございます。将棋部の更なる活躍を期待しています。

最響の仲間

吹奏楽部
保護者 小野 佳世

今年の夏、娘たち吹奏楽部のみんなは、全日本吹奏楽コンクール四国支部大会金賞最優秀という結果を私たちに届けてくれました。思えば三年前、中学最後のコンクールは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。悔しい思いも悲しい思いもぐっと押さえ、真つすぐに音楽と向き合い続けてきた頑張り、やっ

と報われたような気がしました。思うようにいかず悩んだり、部長というプレッシャーに苦しんだりする姿を側で見ていて心配することもありませんが、数日経つとまた前向き、笑顔で努力する姿に成長と逞しさを感じました。互いに認め合い、信頼し支え合うことのできるみんながいてくれたおかげだと思えます。そんな素敵な仲間との思い出と絆は、これからもずっと彼女の宝物です。
これまでご指導してくださった先生方、応援してくださった保護者等の皆様、共に魅せる音楽づくりをしてくれた吹奏楽部のみんな、そして関わってくださったすべての皆様に、心より感謝いたします。



玉磨かざれば光なし

ビジネス部
保護者 西村 和美

入学してすぐにビジネス部への入部を決めた娘。少し意外でしたが、三年生まで続けられそうなお話で、自分ペースで設定



した目標を目指して取り組めることが、娘には向いていると思います。パソコンを使用することが当然の今の世の中、タイピングが速いことが強みにもなることを娘は考えていたのかもしれない。
これまでコツコツと地道な練習を続けてきた娘。昨年出場した同じ大会では、万全の準備で臨んだにもかかわらず、入力した文書がプリンターで出力できないハプニングが……。結果を出すことができず悔しい思いをしたと思います。今年はメンバーとともに存分に力を発揮することができ、県大会を突破して四国大会団体四位の結果を出すことができたことを報告してくれました。娘の顔は、とても輝いていました。よい思い出ができたのではないかと思います。

最後になりましたが、ご指導いただいた先生方、一緒に頑張った部員の皆さん、三年間ありがとうございました。ごさいます。

十七年連覇の伝統

商業研究部
保護者 井上 陽平



一学期が終わろうとするころ、娘から「商業研究部に入りたい」と相談を受けました。当時、私は八高に勤務しており、入学前から商業研究部に入部することを勧めていました。入部当初は、発表原稿を覚えることに必死になり、家でも独特のイントネーションで何度も練習し、私や小学生的の弟も原稿を覚えるほどでした。二年の秋に部長になったとき、愛媛県十六連覇中の部活動で連覇を途切れさせることになったりと心配でしたが、先生方のおかげで、十七連覇を達成することができました。地域活性化のためにアイデアをだし、試行錯誤を繰り返しながら、時には部員や顧問の先生とも衝突したのではないのでしょうか。しかし、伝統を守るために頑張ったからこそ、感動の涙を流すことができたのだと思います。

「娘よ。私が商研を勧めた理由がわかったかな？」

菊澤先生・山田先生・大石先生ご指導ありがとうございました。今後も八幡浜高校商業研究部のご活躍をお祈りしています。

写真を始め

写真部
保護者 藤野 由衣

数ある部活の中から娘が選択したのは写真部でした。初めはカメラを構えるのもぎこちなく、何を撮ろうか悩んでいたのですが、今ではどんなふうに撮ろうかと嬉しそうにレンズ選びをする程です。

通学路の佐田岬半島は、四季折々の自然美を見せてくれます。車を停めて撮影に付き合ったことがありました。夢中にシャッターを切る姿が目には焼きついています。

部長として不安もあったと思いますが、サマーフェスタや文化祭の準備にやりがいを感じることができたのは、いつも協力してくれた部員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



自然科学部に感謝

自然科学部
保護者 大野 久美



制限の多い中、撮影会や高文祭に参加させてくださった顧問の先生にも感謝申し上げます。

高校入学前から、自然科学部に入部すると決めておりました。長女も当部活動で、七歳年の差がある姉の話聞いていた次女は部活動を楽しみに入学いたしました。しかし、コロナ感染症の流行により行動が制限された活動になってしまいました。そんな中でも、先生方や部員の皆さんと協力し文化祭の準備を頑張る様子を見ておりました。部の皆さんのアイデアや工夫が溢れ、広く一般の人にも制作しやすい文化祭となりました。先生・保護者等の皆さんのご協力もあり制作部品も集まり、たくさんの方に楽しんで頂けた文化祭になりました。私たちの周りには、科学や自然・物理・工学であふれています。部活動を通して自分たちの学びに加え、幼い子どもたちにも楽しさを伝え興味を持ってもらえる、素敵な部活動

美術部に入って

美術部
保護者 泉 優紀

です。今後も、さらに活動を広げていただけたら嬉しいです。



小さい頃から絵を描く事に興味があつた息子は、高校に入って美術部に入部しました。家の中で部活の話はほとんどしませんでした。制服や体操服に絵の具をつけて帰ると頑張っているんだなと早く作品が見たくなってきました。初めての作品は自画像だと分かっていたので、展示場に入ったらすぐ「あれだ」と分かりました。息子の思いが伝わってきて胸が熱くなった事を覚えています。隣に展示されたいた先輩方の作品はとても素晴らしい。息子が二年、三年になった時どう変化していくのか楽しみになっていました。引退までに描き上げた絵は四枚。運動部と違い活動する姿は見られないけれど、でき上がった一枚一枚に成長を感じました。これもご指導いただき

放送部に入部して

放送部
保護者 小枝由紀美

いた先生、共に切磋琢磨した部員の皆様のおかげだと思います。本当にありがとうございました。



親としては高校生くらいまでは運動部で活動してほしくて「運動部に入ったら？」と何度も言いました。本人が選んだのは放送部でした。二年生になり部長になったと聞き、大丈夫かな？と心配もしましたが、本人なりに頑張つて活動していたようで、時には撮影に行き転んで汚れて帰ってきた事もありましたが今ではよい思い出です。私が思っているより活動も多く大変そうでしたが、充実感も感じられました。一緒に活動して下さった部員の皆様、ご指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。各部の皆様も、ありがとうございました。

修学旅行



台湾班

故宮博物院
台北101夜景見学
野柳・北海岸
『台北市立松山高級中学』との学校交流
十份
九份
中正紀念堂



関東班

スカイツリー
浅草・雷門・仲見世
劇団四季観劇
東京ディズニーリゾート
都内自主研修
八景島シーパラダイス
横浜中華街



沖縄班

首里城公園
国際通り班別研修
ひめゆりの塔
美ら海水族館
琉球村
青の洞窟シュノーケル体験
おきなわワールド



北海道班

ウポポイ民族共生象徴空間
尻別川ラフティング
小樽自主研修
アサヒビール園羊々亭
札幌テレビ塔
北海道箱根牧場



燃ゆる感動がごしま国体

鹿児島国体に参加して

陸上競技部 三年 曾我 俊明

私は、十月十三日から十七日にかけて鹿児島県で開催された、特別国民体育大会に出場しました。国体に愛媛県の代表として出場することは初めてで、喜びと闘争心の裏に大きなプレッシャーがありました。実際に出場してみても、今までとやることは変わりませんでしたが、歓声の大きさや会場の雰囲気、盛り上がり、緊張が自分の中で自分の中で緊張が高まっていたこと、個人種目ではスタートが今までで一番良かったのですが、いまいきいまいきに対応しきれずに中盤の強みを活かすことができず、リレーでは今までに味わったことのないバトンパスの速さや安心感とともに練習

習時間の少なさから待機場所では緊張がありました。この大会で県同士の戦いの楽しさとともに陸上の楽しさを改めて感じました。また高校生活最後のレースでもあったのでいい締めくくりになりました。この三年間で人間性がいかに大切か、陸上はもちろん他の場面での大切さを学べました。これから陸上を続けるので今までの経験を糧にしていきます。



NHK杯全国高等学校放送コンテスト

放送部 二年 高木 美里

愛媛県代表が決まった時は、まさか自分が全国の舞台に立てるとは……と驚きました。しばらくは実感がなかったのですが、周囲からの激励の言葉によって「県代表」の重さを実感しました。私が放送部に入ったのは、「声で伝える」ことに魅力を感じていたので、今回、様々な人の音読を聴くことによって、多くの学びがありました。本番は不安ながらも、緊張を楽しめる自分もいました。朗読は呼吸一



つにも左右されます。一度紡いだ言葉と全く同じものを再現することが難しいなら、創り出した言葉一つ一つを楽しめばいい。そういう心持ちで挑みましたが、準々決勝敗退という結果でしたが、とても楽しめました。応援していただき、本当にありがとうございました。

全国商業高等学校英語スピーチコンテスト

二年 稲垣 ケイシャ

私は七月に大洲高校で行われた全商英語スピーチコンテスト愛媛県予選で最優秀賞を受賞することができました。そして九月に東京で行われた全国大会に出場しました。発表した内容は、私が参加した子ども食堂でのボランティアについてです。子ども食堂で、友達や職員の方と一緒に子どもに提供するお弁当を作ったり、子どもたちと一緒に触れ合う企画を考え、いろいろな方々と交流し、活動したことなどを英語で発表しました。全国大会では参加者のレベルが高く入賞することはでき



きませんでした。もつと上手く話せるようになりたいと思いました。大会に出場するにあたって、応援してくれた友人をはじめ、指導してくださった先生方、ありがとうございました。とても貴重な経験ができました。

えひめ高校生ハワイ派遣

プログラムの参加して

一年 二宮 伸太

九月二十九日から十月四日の六日間、『えひめ高校生ハワイ派遣』プログラムに参加させていただきました。僕にとつて初めての海外での体験でしたが、実際にネイティブの英語を聞くことができ、貴重な体験になりました。また、ハワイの文化に触れたこと、地元真穴のミカンを紹介するプレゼン発表ができたことなど、充実した六日間でした。さらに、八人の仲間たちとの思い出も大切にしたいです。八人中で唯一の一年生であった僕に対してみんなは気さくに話しかけてくれました。愛媛県の高中生の中から僕たち八人が選ばれ、こうして出会えたことは奇跡です。これからもこの絆を大切にしたいと思います。今、ハワイから帰ってきた僕は以前

よりも一回り大きくなってきているような気がします。様々な文化の違い、日本とは違う風景、人々の絆など僕を大きく成長させるところをたくさん持っている場所、ハワイ。今後もハワイとの関わりを大切にしていきたいです。今回のハワイ派遣事業では、たくさんの貴重な体験をさせていただきました。高校時代にこんな経験ができるのは、僕の今後の人生において大きなアドバンテージになると思います。今回身に付けた英語力だけでなく、人と話すときの態度や難しいことにも自分から向かっていくメンタルなどを人生の大事な場面で発揮していきたいです。



愛媛県大会十七連覇

部活動を通して学んだこと

商業研究部 三年 井上 陽花

私たち商業研究部は「八幡浜の地域活性化」を目標に活動しています。今年度はサステイナブルな商品開発を目指し、地元の方に協力して

ただきながら廃棄されてしまう傷のある果物を使ったジェラートを開発、販売しました。また、八月に行われた県大会で、今までの活動を発表し、十七連覇することができました。今まで先輩方が作り上げてきた十六連覇の記録を途切れさせることなく、更新することができてとても嬉しかったです。

商品の考案や販売活動を通して、商業活動の難しさ、おもしろさを知ることができ、将来は部活動での経験をいかすことのできる仕事に就きたいという夢を見つけることができました。また、自分たちは地域の方々や顧問の先生方など、たくさんの人に支えられていていうことを改めて知るきっかけになりました。これからも、支えてくださる周囲の方々への感謝を忘れず、地域活性化の活動を続けていきたいです。



県駅伝十七連覇

伝統を繋ぐ

陸上競技部 三年 清水ことね

十一月五日、先輩方の汗と涙、そして思いのこもった襷が今年も一番で帰ってきました。昨年

の偉大な先輩方の思いを受け継いで始まった今年のチーム。中学校での陸上経験者は、ほほえない状態。その上、連覇を続けなければならぬという伝統のプレッシャーに思い悩む日々でし

た。チームのまとまりを感じないまま、始まった夏の厳しい練習。「伝統を繋ぐ」この思いを胸にミーティングを重ね、一人一人が努力を続け、少しずつですが成果が出現しました。「伝統のプレッシャー」は、いつしか「伝統の強み」となり、私たちの背中を押してくれました。十七連覇を果たしたときの安堵と達成感、あの仲間と流した嬉し涙は、一生忘れません。

都大路では、感謝を結果で返すことができません、申し訳なく思っています。後輩たちは、この悔しさを忘れず、努力を積み重ね、来年、再来年とさらに強い八高を創ってくれることと思います。たくさんの方々のご支援・ご声援のおかげで三年間走り続けることができました。先生方のご指導のもと、仲間と共に努力する日々の中で、苦しさを上回る喜び、幸せがあり、たくさんの方との出会いの中で成長することができました。本当にありがとうございます。



編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、ようやく明るい兆しが見えてきました。これまでの制限が緩和されたおかげで、今年度は、体育祭、修学旅行、文化祭、その他多くの大会が通常開催され、大変嬉しく思います。子どもたちの楽しそうな笑顔、輝かしい勇壮な姿がたくさんつまった広報となりました。いろいろなことを学び、感じ、成長していく大事な高校生活。今しかできない貴重な経験が子どもたちにとって、今後の人生の糧になることと思えます。

最後に、広報発行にあたり、記事掲載にご協力いただいた皆様、編集等にご尽力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

広報委員長 山下 静子